



百歳おめでとうございます

海老原アキさんと吉田とめさん

海老原アキさん（大正3年11月生）が百歳を迎えられ、市長から祝詞とお祝いの品を贈呈しました。

海老原さんは90歳までゲートボールを楽しまれました。今は話をすることがとても好きなので、皆さんとおしゃべりをしたりレクリエーションをしたりと、楽しく毎日をすごされています。また、食事もおいしくいただけるそうです。

いつまでもお元気でお過ごしください。



吉田とめさん（大正3年12月生）が百歳を迎えられ、市長から祝詞とお祝いの品を贈呈しました。

吉田さんは、若い頃陸上の選手で足がとても速く、走ることがとても楽しかったそうです。今は好き嫌いなく何でも食べ、新聞もよく読むそうです。また、デイサービスに来て皆さんとお話をしたり、運動をしたりすることが楽しみだそうです。

いつまでもお元気でお過ごしください。



吉田西小にトウサワトラノオ 小山北桜高校と交流事業

12月8日、栃木県立小山北桜高等学校の1・2年生と吉田西小学校5・6年生で、トウサワトラノオ交流事業が行われました。

前回、7月に吉田西小学校の庭に小学生と高校生徒と一緒に、トウサワトラノオの種がこぼれた土を搬入。今回は経過の確認とトウサワトラノオの授業を行いました。



「あきらめない」 高藤直寿選手講演会

12月25日、国分寺中学校創立140周年記念として、同校出身の世界柔道金メダリスト、高藤直寿選手が講演会を行いました。

高藤選手は小学生1～6年生に「夢にむかって」と題し、これまでの苦労話や体験談を語りました。「好きな言葉は『信念』。夢を持って、あきらめず継続することが大切。」と、2016年リオデジャネイロ五輪での金メダル獲得という自身の夢を語りました。

最後は小学生が「フレフレ高藤!」と今後の活躍に期待を込めてエールを贈られ、今後の活躍が期待されました。